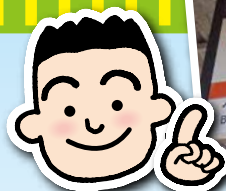


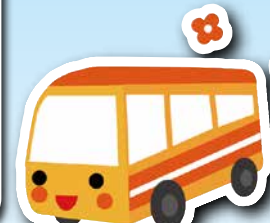


ほっちゃんの チョイ旅!(第29弾)

新居町関所 編



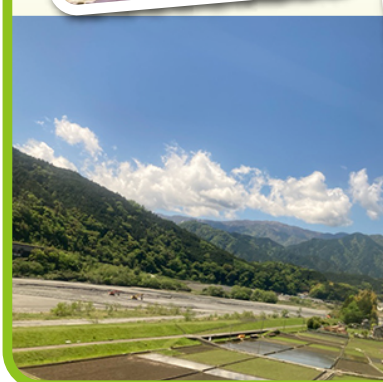
みなさま、本当に本当にさらに本当にお久しぶりのちょい旅になりました。お待たせいたしました。いつもお声をかけを頂きまして誠にありがとうございます。ここ近年のご時世柄もございまして、本当は私も出かけたてうずうずしてきた数年でした。これだけ間が空きますと、さてどこに行こうか、と悩みすぎてしまいましたが、考えた結果、方向は、西方面だな、とまずは決め、ではどこにぶらっと出かけようかな・・・と思いふけ、海と歴史にふれあいたい、という気持ちになりまして、選んだ目的地は、新居町の関所にしました。さあちょい旅の出発です。JR静岡駅からは、新幹線にて浜松に向かうことにしました。ほっけんでの新幹線は久々の乗車です。静岡駅から浜松駅までは、こだま号でおよそ30分です。やはり車よりスイスイと早いですね。浜松駅からは東海道線に乗り換えます。浜松→高塚→舞阪→弁天島→新居町へと豊橋方面に電車は進み、新居町までおよそ15分です。途中、浜名湖畔の心地よい車窓からの風景が見えます。新居町に到着しました。ここから関所までは、豊橋方面に徒歩、または湖西市のコミュニティーバスが鷺津駅方面に出ております。以前は、バス会社の路線が出ていたようですが、すでに撤退したようで、どこの街に行っても、この路線廃止の問題がつきもののようなものでした。さて、私は駅から歩きを選択し、街並みを感じながら、関所までおよそ10分でした。関所へは入場料400円です。私が行った当時は、少しメンテナンス中のようなものでした。順路に沿って中をまわります。新居町関所の歴史は、徳川家康さんによって築かれたもので、現存するただ一つの関所として有名です。当時は、主に入り鉄砲と出女に対して、厳しいチェックがありました。また浜名湖の今切口近くにあるため、渡船場が置かれていたようです。歴史資料館もありまして、時代背景がよくわかります。順路にそって進みますと、面番所という大きな建物があります。お役人さんの人形が実物大に座っておられます。当時の取り締まりのきびしさが伺えます。その次に、女改之長屋があります。私は仕事柄、建築的な目でどうしても建物に見入ってしまうのですが、当時の建物には、金物類に頼らない大工の工夫もわかり、電動工具もない、レッカーもない、という建築機械類が現実ない時代の建築様式の工夫と知恵がよくわかります。関所から少し西に歩きますと、当時の旅館だった建物も見ることができます。紀伊国屋といういわゆる旅籠です。私はこちらも行ってきました。江戸時代の旅籠の、今でいうキッチンがありまして、かまどや台所を見ると、この当時の暮らしぶりや厨房での支度の仕方がわかります。2階に上がると特によくわかるのは、天井が低いということです。今では考えられないですが、日本人の身長や建築として天井高を低くとった構造がよくわかります。今回の旅では、江戸と令和の、当たり前ではありますが、日本人の設計と建築の工夫と発展に気づくことが多かったです。みなさまも一度、のんびりゆったりとした鉄道バス旅にお出かけされてみてください。(筆者旅令和6年4月)



ほっちゃんの チョイ旅!(第30弾)

下部温泉 編

みなさまこんにちは。いつもお世話になりましてありがとうございます。ちょたびまたまた1年ぶりになりましたが、近年では続けて行けた感があります。今回は、以前の旅でも一度乗りましたが、JR身延線 特急ふじかわ号の旅に出かけてきました。ふじかわ号は、おおむね2時間に一本走っている、静岡駅と山梨県甲府駅をむすぶ特急列車です。私が好きなのは、特急ではあるものの、身延線の富士宮からは単線になり、郊外の部分は山あいや富士川沿いを走る為、速度としては、かなりスローな区間があることです。のんびりゆったりとしたスピード感が、乗っていると、特急列車に乗っていることを忘れてしまい、景色に心をあらわれる時間が大好きです。私は富士駅から乗車します。進行方向沿いに座席が向くためです。富士駅を出ますと、富士宮・内船・身延・下部温泉・・・と進みます。富士駅から下部温泉までは、特急でおおむね1時間です。西富士宮駅を過ぎますと、次第に山あいの区間になり、車窓には新緑がたくさん入ってきます。マスの養魚場もありますね。富士山も車窓からはほんとはよく見えますよ。進行方向左側に、富士川が見えてきます。おおらかな流れの富士川が上からよく見えて、対岸の山々やふもとの家並みも見えます。なんともどかな時間がすぎます。身延につきますと、有名な観光地でもある身延山があるせいか、降車される方も多いようです。身延駅を出ますと、下部温泉へは、およそ10分で到着です。特急の停車駅ではありますが、いわゆる無人駅でした。駅舎やホームはいい味わいのある所と建物で、和風建築の建物です。昭和の映画のシーンに出てくるようなイメージでした。駅前には、広いつくりで、食堂とおみやげものやさんが目の前にありました。路線バス乗り場をみると、身延方面や本栖湖方面に出ているようです。駅前食堂の丸一さんで、かつ丼を堪能し、向かいのお土産物店で、甘党の私にははずせないおまんじゅうを買いました。おばちゃんに、よくSNSで見ますよ、と話しかけたら、よく撮影しに来るんですよ、でも私は映さないでね、っていうんです・・・と気さくな話でした。その斜め前には、メロディー橋や金山博物館がありました。そこから山あいの奥へ歩くと、温泉街が続きます。おばちゃんの話だと、以前はもっとにぎやかだったとか・・・でも、しっとりと落ち着いた感じは、それもいい味で私はいいと思いました。駅前にもどり、駅のすぐ真裏にある、温泉施設に向かいます。今回の旅の目的地でもあります。さて、下部温泉の由来は、武田信玄公の隠し湯として有名と聞きました。川中島の戦いで傷を負った信玄がその治療に来ていたという一つの由来があるそうです。駅裏にある、日帰りの温泉施設に入ると、わりと広くて休憩もできました。温泉は、ぬるめ・あつめ・寝湯・歩行湯・あぶく湯・露天・サウナ・水風呂とたくさんあります。レストハウスもあり、飲食が色々できます。私は、甘党のあんみつを頂きました。畳の上でごろんとできて、気が付いたら眠っていました(汗)。さあ、リフレッシュして帰路の電車にのります。各駅停車に乗ると、秘境駅感が漂う駅もありました。ほっこりとしたいい旅でした。また下部に行きたいな。(筆者旅令和7年5月)



ほっけんファミリーのつくるいい住まいのご紹介です。

ひらや建て・2階建て・3階建ての特徴を解説させていただきます。
(直近のお引渡し宅様のご紹介です。)

ひらや建て 階段のない暮らし

ゼロエネ仕様の住まいです。

階段を設けない住まいは、まさに

地震対策の観点からは、一番と言えます。

座屈がなく、上からの荷がかかっていません。

階段がないことで、スペースもさらに有効利用ができます。全館床暖房となっており、真冬のヒートショックに備えた安心仕様です。勾配天井とし、

ゆったりとした室内空間を実現

しました。



2階建ての暮らし

家族の共用スペースと個室の

フロアーを分けた住まい。日本で一番多い

スタイルのタイプといえます。日当たりや駐車場

など諸条件であえて2階にリビング・ダイニングを設けることもあります。今回建てさせて頂いたお宅様は、

水害対策仕様の高床基礎で、安心度を上げました。

リビング畳丘をつくり、ちょっとした腰掛け、

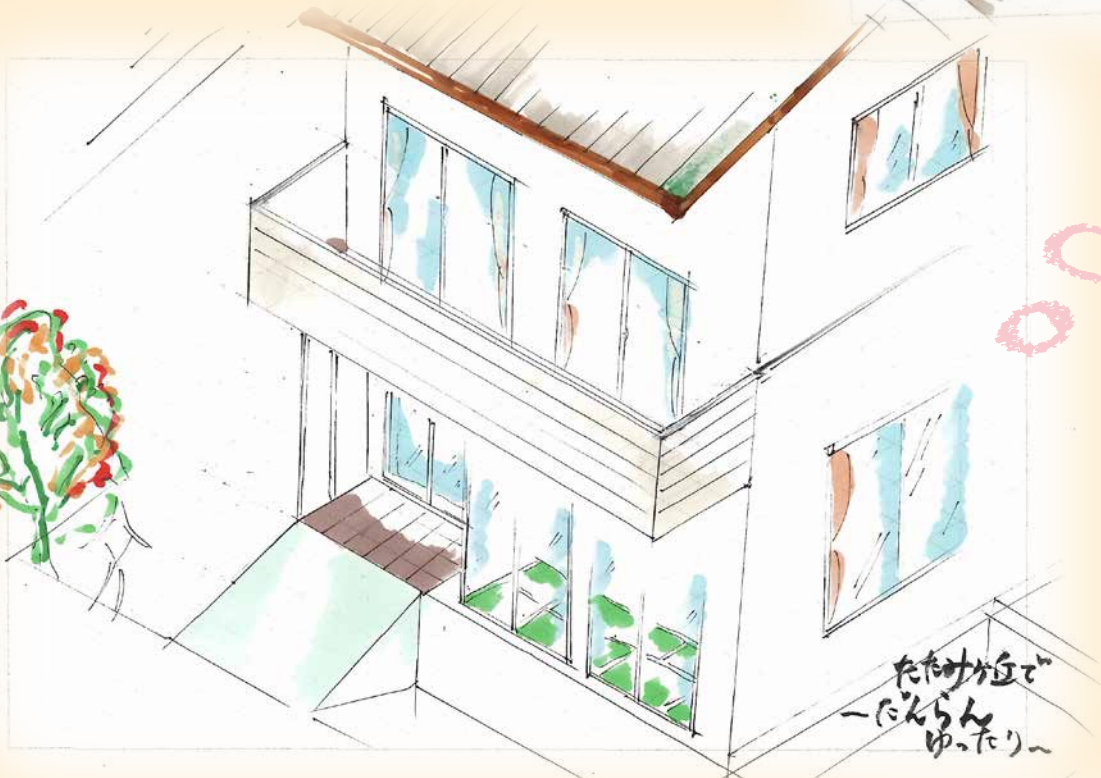
下には収納もできました。カウンターテーブルには

奥様の家事事務コーナーも設けてちょっと一服も

可能に。ピアノ置き場やペットコーナーも

設けて、みんなでくつろげるように

有効設計をしました。



3階建て(ロフト付き)の住まい

3世代共用タイプにいつも

暮らしやすい配慮。3世代のそれぞれが暮

らしやすくするには・・・という想いから始まった

プラン。日当たり・風通し・玄関・収納・水回り・窓

・車・個室・方位・・・を1年かけてみっちりシミュレ

ーションしました。各フロアごとに配置したオール水ま

わりは、いつどんな時間帯に使用してもいいように配置。

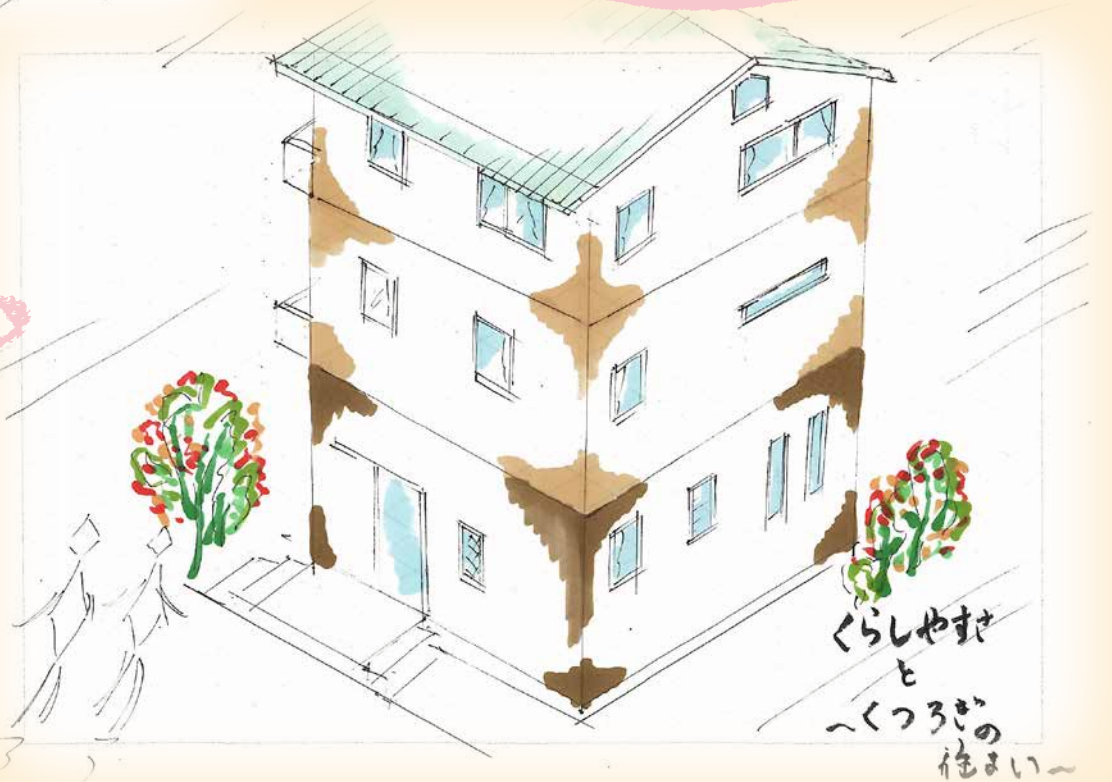
すっきりとした印象の建て方は、メンテナンス性に

すぐれた高断熱耐火の外壁材に。各ショールーム

にてしっかりと確認した仕様で、間違い

ない住まい心地に向けて、

じっくり進めました。



発行元：ゆきホームス 堀田建築有限会社

●本店／静岡市清水区押切1200-10 ●工場／清水区梅ヶ谷1290-1 ●サービスコール ☎ 0120-554-406(心地よいマイホーム)

加盟紹介／静岡県安心安全リフォーム協議会・ふじの国リフォーム支援会・県しずおか優良木材の家づくり・クリナップ水まわり工房・リクシルリフォームネット・太陽光取り入れシステム認定店

<https://hokken-house.com/>